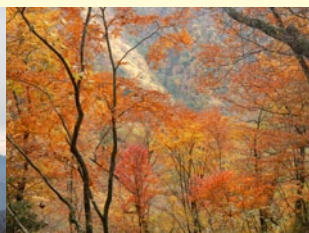




20xx.11.3

紅葉の美しい雲取山に初めて登った私とMさん。一言もしゃべらず下を向いて歩く十数人パーティーの後ろを不気味な思いで歩くと、徐々に私たちも無口になる。距離が長くてツライのである。石尾根に出ると、黄金色の唐松と水墨画のような富士山に感動。通りすがりの女の子が、「ありがた〜い、ありがた〜い」とずっと言っていた。言わんとするところはわかるけど、なんか言葉が違う気がする。暗くなる寸前に辿り着いた雲取山荘は混み合い、2人で1枚の布団。三条ノ湯への下りではMさんが転んで豪快に一回転するも、ケガなく下山、楽しい山旅でした。

雲取山 (東京都・埼玉県・山梨県)



私の初めての南アルプスは夜叉神峠。この年の8月は千畳敷カールを歩き、10月には柏原新道を登ったので、今さらながら思い返すと、この年は私のアルプス元年だったのだなあ。峠から高谷山へはわずかな距離だが、縦走路とは逆方向で展望もないため、訪れる人は少ない。当時の私は熊を怖れてビクビクし、なだらかな登りも急坂のように、非常に長く感じた。山頂から早々に折り返すと、下りはビックリするほど短く感じ、狐に化かされたような気分だった。そういえば山頂には、狐のような姿を彫った石があり、花?が添えられていた。

高谷山(夜叉神峠) (山梨県)



20xx.11.3

名残の紅葉を求めて



20xx.11.23

伊勢原駅から大山ケーブル行きのバス待ち行列にウンザリし、日向薬師へ向かった。鮮やかなカエデに見とれながらも、お寺は改修中。日向山へは軽いハイキングコースで、山頂も地味だが、賑やかすぎなくていい感じ。周囲の山の色づきも美しかった。帰りは見城山を経て厚木のナイアガラ(勝手に命名)、大釜弁財天へ。付近には紅葉とクライミングのプチ名所の滑岩もある。道端の無人販売の野菜を欲張って買いまわり、重かった。寝坊して昼から登山となった私にちょうど良いハイキングとなったが、時間があれば鐘ヶ嶽も併せて登りたかったな。

日向山 (神奈川県)



雪山テント泊への道

未だに実現していない雪山テント泊への険しい道のり。申し合わせたように雪山特集ばかりの登山雑誌にやきもきしながら、雪山テント泊パダワンの修行は続く…



雪山は寒い。景色は見渡す限り白く、吐く息も白い。踏みしめる雪は固いのか、柔らかいのか。殺人的な寒さにくつろげる瞬間は無く、何枚もの防寒着や多量の食材（冬は食欲旺盛）のために夏山より重いザック。それゆえ夏山より激しい疲労に「何で自分はこんなことをしているんだ…」という深い深い苦悩。寒さ、重さ、それゆえの苦悩…それを乗り越えて4番目、「…すげえ楽しい!」の境地に達した変態…いえ人間が、名付けて“Fourth”^{フォース}を手に入れた者だけが“雪山テント泊ナイト”、そして“マスター”へと昇格するのである。

雪山テント泊装備:

なんとか全部詰め込みました

- アイゼン・ワカン
- スコップ
- ストック(ピッケル)
- テント・スノーフライ・竹ペグ
- 銀マット(テント全体に敷くやつ)
- マット(シュラフの下に敷くやつ)
- #0のシュラフ&シュラフカバー
- ダウン上下、テントシューズ
- フリース
- ビニール袋、タオル、ブラシ等
- 燃料は多めに! 固形燃料でどこまでやれるか?



おまかせください

雪山テント泊での忘れ物は命とりだ。目的はピークハントではなく、あくまでも雪山テント泊なのだから。寒いのになぜ雪山テント泊にこだわるのか…そう思うあなたはまだフォースを覚醒していない!

おもいよ

自分の服装:

- ドライレイヤー
- メリノウールシャツ
- (防寒アンダーシャツ・タイツ)
- ベースレイヤー
- ソフトシェル
- レインウェア(ハードシェル)
- 手袋(2重)
- 靴下(2重)
- 毛糸の帽子
- ネックウォーマー
- サングラス



ダウンジャケットがほしいなあ…



*耳を出してたら死ぬよ

目出し帽もかぶってみたい!



着ぶくれしてますよ

これは

出来るだけ晴れて、風の無い日を選ぶ。青空と雪の神コントラスト、夜は満天の星

1~3時間程度で辿り着けるテント場を選ぶ。どうせ北ハツ辺りだろ…

寒さに耐え抜く勇気を持つ。いざとなれば山小屋があるさ!

今月のテン泊あるある

*テン泊あるあるはネタ切…いえ、都合によりしばらくお休み致します。

60 さわやかな朝 晴れ渡る空 気持ちよい目覚め
テントから外に出ようとしたその時 私は見た
己の靴の中で つぶれている虫を……(;´Д`)

けっこうデカイやつ



今月の妄想登山

実現率:50%

とにかくテン泊がしたいの!!!

テン場ありきの山旅・海旅



がっつり登山が難しい冬場は、とにかくテン泊がしたい。しかし、冬でも利用出来るキャンプ場は少ない。雪山ハイク&テント泊と、暖かい南国ののんびりテント泊、交互に楽しめたら面白い。

- *オートキャンプ場キラリ。
- *テン泊目的なので絶景必須。
- *寒すぎない所がいいなー。



氷川キャンプ場(奥多摩)

一番手軽なキャンプ場。河原なので寒そうだけど…。周辺の山は冬だと私には厳しいので、奥多摩むかし道でも歩こうかな?

精進湖キャンプ場&浩庵キャンプ場(本栖湖)

富士山を望む絶景のキャンプ場。三方分山~パノラマ台から縦走したいけどもう雪が積もってる…

トウシキキャンプ場(伊豆大島) 底土野営場(八丈島)

島には行ったことあるけど、テン泊のためにまた行きたいと思えるほど絶景の海辺のキャンプ場。要予約。

海楽園キャンプ場(屋久島)

数年前の冬休みに屋久島に行ったけど、まだまだ見たい所たくさん。私は自転車にも乗れないので、交通手段が不便で困るが…



お花摘み

週刊実話

どこまで行けば、登山道から見えなくなるだろうか。いや、もう見えない場所まで来ているとは思うが、不安でたまらない。そっちらからは見えないけど、もしかしてあっちからは見えるのではないかな。この先の登山道が予想外に曲がっているかもしれないし、不安は消えない。しかし、たとえ目に入る位置だったとしても、大丈夫、見えたとしても、気付かれるとは限らない。わけのわからん理屈で自分を落ち着かせ、とにかく人のいないうちに事を済ませてしまおうと、慎重に場所を吟味する。よし、あそこだ! とうとう私は、運命の場所を決定した。(次号に続く)

今月のQuiz

この看板はどこ(山・山域等)にあるでしょう?

*先月号の答えは、誰も答えてくれなかったけど高尾山でした。別に気にしてませんが。

編集長から一言

今年も紅葉を逃してしまった気がする。いや、それなりに楽しめた山もあるのだが、なんかこう、100%ではないというか、なんかこう、見渡す限り真っ赤とかそんな感じの、すごい紅葉が見たい。いつになったら見られるのだろうか。私にはムリかもしれない。私は、紅葉やお花を見に山に登る、というのは癪なのだ。時期を外してしまったらくやしいからだ。だから、まあ別に紅葉とか、お花とか、どうでもいいんだけど、でもちょっと行ってみようかしら、と思って何の気なしに登った山が実は見頃で、あらラッキーだったわ! みたいなのが理想なのである。紅葉スポットだから行く、なんてのはミーハーのやることですよ。そうですよ。私はミーハーではありません。決してミーハーではないですが、まあ山登りするついでに紅葉を楽しむのはやぶがさかではないことな

